|  |
| --- |
| Naruto Translate Ep01 (Parte 02) |
| 1- （ミズキ）よくここが分かったな。 |
| 2- （イルカ）なるほど　そういうことか。 |
| 3- （ミズキ）ナルト、巻物を渡せ。 |
| 4- （ナルト）あのさ・・・あのさ　どうなってんの？これ。 |
| 5- （イルカ）ナルト、巻物は死んでも渡すな！ |
| 6- それは　禁じ手の忍術を記して封印した危険なものだ！ |
| 7- ミズキは　それを手に入れるため、お前を利用したんだ！ |
| 8- （ミズキ）ナルト、イルカは　お前がそれを持つことを恐れているんだ。 |
| 9- （イルカ）何を言っている！？ミズキ！ |
| 10- だまされるな！ナルト。 |
| 11- （ミズキ）ハハハ・・・本当のことを教えてやるよ。 |
| 12- （イルカ）ば・・・ばか　よせ！ |
| 13- （ミズキ）年前の事件 以来 里にはあるおきてが作られた。 |
| 14- （ナルト）あるおきて？ |
| 15- （ミズキ）それは、ナルト、お前にだけは　決して知らさせることのないおきてだった。 |
| 16- （ナルト）俺にだけ？何なんだ！？そのおきてって。 |
| 17- （イルカ）止めろ　ミズキ！ |
| 18- （ミズキ）ナルトの正体が　化けぎつねだと口にしない　おきてだ。 |
| 19- つまり、お前が　イルカの両親を殺し里を壊滅させた九尾の妖狐なんだよ。 |
| 20- お前は　里のみんななにずっと駄目されていたんだよ。 |
| 21- おかしいとは思わなかったか？ |
| 22- あんなに毛嫌いされて。 |
| 23- （ナルト）《チクショ！チクショ！チクショ！チクショ！チクショ！》 |
| 24- （ミズキ）お前なんか　誰も認めやしない！ |
| 25- イルカだって　お前が憎いんだ！ |
| 26- （猿飛）《イルカよ。ナルトは親の愛情を知らず。》 |
| 27- 《里の者には　あの事件のことで煙たがられる。》 |
| 28- 《だから、人の気を引くために　いたずらをするしかなかったのじゃ。》 |
| 29- 《どんな形であれ　自分の存在 価値を認めてほしかったんじゃよ。》 |
| 30- 《強がってはいるが、つらいのはナルトのほうじゃ》 |
| 31- （ミズキ）死ね！ナルト！ |
| 32- （イルカ）ナルト！伏せろ！ |
| 33- （ナルト）な・・・何で？ |
| 34- （イルカ）同じだからさ。 |
| 35- 両親が死んでから誰も俺のことを褒めたり　認めてくれる人がいなくなっちまった。 |
| 36- 出来の悪かった俺は　クラスでよくばかをやった。 |
| 37- 人の気を引き付けたかったから。 |
| 38- 優秀なほうで人の気が　引けなかったから　ずっとばかやってたんだ。 |
| 39- 苦しかった。 |
| 40- そうだよなぁ、ナルト。 |
| 41- 寂しかったんだよなぁ。 |
| 42- 苦しかったんだよなぁ。 |
| 43- ごめんなぁ、ナルト。 |
| 44- 俺がもっとしっかりしてりゃ　こんな思いさせずに済んだのに。 |
| 45- （ミズキ）フッフフフ・・・笑わせるぜ！ |
| 46- イルカは　自分の両親を殺したお前をずっと憎んでいたんだ。 |
| 47- 何だかんだいって、巻物を取り戻したいだけなんだ。 |
| 48- （イルカ）ナルト！ナルト~~~！ |
| 49- （ミズキ）ハハハ・・・ナルトは心変わりするようなヤツじゃねぇ。 |
| 50- あの巻物でこの里に復しゅうするぞ。 |
| 51- さっきの　あいつの目見たろ？化けぎつね目だ。 |
| 52- （イルカ）いや！ナルトは　そんなヤツじゃない！ |
| 53- （ミズキ）ナルトを始末して　あの巻物さえ手に入れりゃ　それでいいんだ。 |
| 54- お前は後回しだ。 |
| 55- （イルカ）《させるか》 |
| 56- （猿飛）《やれやれミズキのヤツしゃべりおって。》 |
| 57- 《ナルトは今までになく不安定じゃな。》 |
| 58- 《術で抑えられていた力を解放するやもしれん。》 |
| 59- 《その上　封印の書も手の内にあるとなると》 |
| 60- 《自力で封印を破り　九尾の狐が現れる可能性も　万に一つだが考えられる。》 |
| 61- 《そのときは・・・》 |
| 62- （イルカ）《見つけた！》 |
| 63- （イルカ）ナルト！さっきミズキが言ったことはでたらめだ！ |
| 64- 早く巻物をこっちに渡すんだ！ミズキが巻物を狙ってる！ |
| 65- そ・・・そんな。どうしてだ？ナルト。 |
| 66- どうして・・・イルカじゃないと分かった？ |
| 67- （イルカ）イルカは俺だ。 |
| 68- （ミズキ）なるほど。親の敵に化けてまであいつをかばって　何になる？ |
| 69- （イルカ）お前みたいな　ばか野郎に巻物は渡さない。 |
| 70- （ミズキ）ばかは　お前だ。ナルトも俺と同じなんだよ。 |
| 71- あの巻物の術を使えば何だって思いのままだ。 |
| 72- ナルトが　化けぎつねが巻物の力を利用しないわけがない。 |
| 73- （イルカ）ああ　そうだな。 |
| 74- （ナルト）《ケッ　やっばそうだってばよ。》 |
| 75- 《ほらな。イルカ先生も本心では俺のこと・・・認めてねえんだ！》 |
| 76- （イルカ）化けぎつねならな。けど、ナルトは違う。 |
| 77- あいつは・・・あいつは　この俺が認めた優秀な生徒だ。 |
| 78- 努力家で　いちずで |
| 79- そのくせ不器用で誰からも認めてもらえなくて |
| 80- あいつは人の心の苦しみを知っている。 |
| 81- あいつは化けぎつねなんかじゃない。 |
| 82- 木葉の里の　うずまきナルトだ！ |
| 83- （ミズキ）ケッ　めでてぇ野郎だな。 |
| 84- イルカ！お前を後回しにするっつったが　やめた。 |
| 85- さっさと死ね~！ |
| 86- （イルカ）《これまでか・・・》 |
| 87- （ミズキ）やってくれるじゃねえか。 |
| 88- （ナルト）イルカ先生に手　出すな。殺すぞ！ |
| 89- （ミズキ）ほざくな！てめぇみたいなガキ一発で　けりつけてやるよ。 |
| 90- （ナルト）やってみろよ！カス！ |
| 91- 千倍にして返してやっから。 |
| 92- てめぇこそ！やれるもんならやってみろ！化けぎつね！ |
| 93- （ナルト）影分身の術！ |
| 94- （イルカ）《ナルト、お前・・・影分身の術》 |
| 95- 《実体そのものを作り出す高等 忍術》 |
| 96- （ミズキ）何だと？ |
| 97- （ナルト）べろべろびゃ！来いってばよ！ |
| 98- それじゃ・・・こっちから行くぜ！ |
| 99- エヘヘへ・・・ちっと　やり過ぎちゃった。 |
| 100- イルカ先生。大丈夫か？ |
| 101- （イルカ）あ・・・ああ。 |
| 102- 《大したもんだ。こいつ　ひょっとすると本当に　どの火影をも・・・》 |
| 103- ナルト、ちょっとこちに来い。 |
| 104- （忍び１）ナルトのヤツ見つかったか？ |
| 105- （ヤジロベエ）ダメだ。 |
| 106- （忍び２）くそ！ |
| 107- えらいことになったぞ！ |
| 108- （猿飛）もう心配することはない。 |
| 109- もうじき帰ってくるじゃろう。 |
| 110- （ナルト）先生　まだ？ |
| 111- （イルカ）よし！もう目開けていいぞ。 |
| 112- 授業　おめでとう。 |
| 113- よし！卒業 祝いだ！ |
| 114- ラーメン　おごってやるぞ。 |
| 115- （ナルト）イルカ先生~！ |
| 116- （イルカ）あ~！痛ぇよ　おい！ |
| 117- 《ナルト、忍びにとって本当に大変なのは》 |
| 118- 《これからだって　説教するつもりだったが、それは　ラーメン屋まで我慢しといてやるか》 |
| 119- (Ending...) |
| 120- 〈な・・・何だってばよ。このチビ人の後　くっついてんな！〉 |
| 121- 〈おまけに俺よかガキのくせに五代目 火影になるって？〉 |
| 122- 〈あのな　火影のじいちゃんの孫だか何か知んねえけど〉 |
| 123- 〈火影 名乗んのは　そんな簡単じゃねえんんだか！〉 |
| 124- 〈そんなに欲しけりゃな　この俺をぶっ倒してからにしろ！〉 |
| 125- 〈次回！木ノ葉丸だコレー〉 |
| 126- 〈俺ってばまた活躍しちゃうってばよ！〉 |
|  |
|  |
|  |